

学長たちの悩み

象牙の塔にも成果主義

「春から法人化の下で学長とから交付される。なるみなさん。」愁傷さまで

三月初め、東京・湯島で行われた国立大学の学長が一堂に集まる国立大学協会(国大協)の臨時総会。退任する学長が、あ

いさつでこう切り出し、会場の笑いを誘った。臨時総会は国立大の法人化に伴い国大協を解散、社団法人・

大学は変わるか

国立大法人化カウントダウン

①

国立大学法人協会(新国大協)の設立を協議するために開かれた。学長たちの多くは一樣に厳しい顔。約一時間半の会議の中で笑いが漏れたのは、この「1%ずつ毎年削減する方針」という。

全国の学長が危機感を募らせて怒った。「人件費の確保に四苦八苦して、まともな研究や教育ができるのか」「すぐ

国立大の運営費は、職員の給与や研究費まで国が大部分をまかなってきた。法人化後は、「運営費交付金」という形で国

部科学相に「学長を返上する」とも考える」と、切腹覚悟で直談判したが、政府方針は覆らなかった。

「田舎の小さな大学でも、やればできるんです」。渋い顔の

一方、資金獲得に苦しむ大学もある。東大や筑波大に囲まれ、独自の発揮を模索している

野敏博学長は意気軒高だ。文科省は大学に対し「アメとムチ」を使い分けている。科学研究費補助金(科研費)のほ

徳島大は平成十五年度の競争的資金五分野で研究や事業が採択され、十億円以上を獲得した。予算も学生数も東大の五分の一の小さな大学の快挙だった。五分野で選ばれたのは、徳島大と名古屋大だけだ。

青野学長は医学部教授出身。特に、額が大きいCOEには必

四月一日、国立大が法人化される。大学の裁量が広がることもに教育や研究の成果が厳しく評価される。文科省は「百年に一度の改革」と位置づけるが、象牙の塔と揶揄されてきた国立大は変わるのか。法人化へのカウントダウンが始まった国立大の現状を探る。



活気あふれる徳島大工学部の研究室。同学部の教育は、8倍以上の難関を突破して文科省の「特色ある大学教育支援プログラム」に採択された

Q 法人化とは
A 国立大はこれまで文科省の一組織との位置付けだったが、「国立大学法人○○大学」と各大学が法人格を持つた独立した法人となり、大学運営の裁量が拡大する。私立

大の場合は「学校法人」。法人化後は経営権限と責任が学長に移されるとともに、各大学は6年間の中期目標・計画を策定、評価を受け予算にも反映される。

唯一の保留

大学は変わるか

国立大法人化カウントダウン

■②■

国立大学のなかで、「旧帝大」と呼ばれるグループがある。旧制の帝国大学の略称で、北から北海道、東北、東京、名古屋、京都、大阪、九州の七大学。国立大学のトップグループを形成、戦後も日本の高等教育を引っ張ってきた。

「旧帝大」のおぼろげな苦戦続く

法人化への動きが急になり、大学の競争が激化するなかで、旧帝大グループでも、「勝ち」と「負け」が表面化するようになってきた。このなかで大阪大は苦しい戦いを続けている。

昨年九月、文部科学省が全大を対象に募集した「特色のある」と大阪大の宮原秀高度な教養教育を効率よくマネ

大学長は当時を振り返る。大学院設置が「保留」回答になった際、すぐに問題とされた教官人事を見直し、設置を再申請して、ようやく認可された。

「甘かった」というのは、すぐ見直して再申請できるなら、なぜ最初からきちんとした申請ができたのか」というこぼれ。実力はある。

と。保留の原因は教官のキャリアがすべてデータとして蓄積されていなかったためだった。

宮原学長は学内の全教官の研究、教育キャリアのデータベースを作った。

選に漏れたことについても、「教育がダメ」という印象を与

長自身が望んだ結果だ。四月からは、大学の運営は学長や理事

などで作る役員会で議決する。

しかし、役員会では細かい事項に、経済同友会特別顧問の牛尾

まで協議することが難しく、大治朗氏やJR東日本社長の犬塚

ざっぱな意思決定しかできない。しかも末端の研究者が持つ

アイデアをすくいあげることも難しい。結果としてトップは限

られた情報のなかでしか意思決定ができないと判断したため、

メンバーを広げて開催する拡大

大阪大の宮原学長は「大学が

存在感を持つためには、研究者、教育者が能力を発揮できる

環境をつくること。そして国なり、社会なりにきちんと説明す

ること。これまで説明を怠っていた部分があることは否めない。

研究や教育に閉じこもって

いられる時代ではない。積極的に説明、いや『宣伝』してい

たい」と話す。

役員会を設置する。

東京大も法人化に伴って設置する「経営協議会」の学外委員

を発想でトップマネジメント

できるようにする。役員会

には学外有識者も登用。

「教育研究評議会」と「経営協議会」の二つの審議機

関が置かれ、経営協議会は

半数以上が学外委員。

Q 企業並みに役員会も

できる?

A これまで国立大の経

営面は文科省が担ってきた

といえるが、学長と理事で

構成する「役員会」で重要

事項を意思決定し、民間的

学生へのサービス

大学は変わるか

国立大法人化カウントダウン

③

「ナンバーワン授業」。岩手をみせるようになった。これまでに国立大はあまり力を入れてこなかった就職指導でも私立並みに力を入れるようになってきた。この講座は、ほかの教官も聴講できるようにして、講義の質の向上を図っていくねらいがある。

岩手大は、学部学科の壁を低くして、転部を容易にする方針を打ち出している。明確な目的を持たないまま入学してくる学生が増え、進路変更のために退学してしまうケースが増えているため。進藤副学長は「将来には、学生は学部を明確に選ぶべきで、理系か文系か、という。」

が、岩手大は、学部学科の壁を低くして、転部を容易にする方針を打ち出している。明確な目的を持たないまま入学してくる学生が増え、進路変更のために退学してしまうケースが増えているため。進藤副学長は「将来には、学生は学部を明確に選ぶべきで、理系か文系か、という。」

生き残りへ知恵比べ加速

岩手大は、週一回、一時間から一時間半程度、教官が研究室に在室する「オフィスアワー」の時間も設けている。この時間には、学生が「権利」として教官と話をすることができるとしている。さるに、教官がつけた成績についての苦情受け付けの窓口など、

が、岩手大は、学部学科の壁を低くして、転部を容易にする方針を打ち出している。明確な目的を持たないまま入学してくる学生が増え、進路変更のために退学してしまうケースが増えているため。進藤副学長は「将来には、学生は学部を明確に選ぶべきで、理系か文系か、という。」

が、岩手大は、学部学科の壁を低くして、転部を容易にする方針を打ち出している。明確な目的を持たないまま入学してくる学生が増え、進路変更のために退学してしまうケースが増えているため。進藤副学長は「将来には、学生は学部を明確に選ぶべきで、理系か文系か、という。」

「ナンバーワン授業」。岩手をみせるようになった。これまでに国立大はあまり力を入れてこなかった就職指導でも私立並みに力を入れるようになってきた。この講座は、ほかの教官も聴講できるようにして、講義の質の向上を図っていくねらいがある。

岩手大は、週一回、一時間から一時間半程度、教官が研究室に在室する「オフィスアワー」の時間も設けている。この時間には、学生が「権利」として教官と話をすることができるとしている。さるに、教官がつけた成績についての苦情受け付けの窓口など、

が、岩手大は、学部学科の壁を低くして、転部を容易にする方針を打ち出している。明確な目的を持たないまま入学してくる学生が増え、進路変更のために退学してしまうケースが増えているため。進藤副学長は「将来には、学生は学部を明確に選ぶべきで、理系か文系か、という。」

Q 大学によって授業料にも差があるのか。
A 国立大は法人化後、年間授業料を文科省が省令で定める標準額の10%を上限に各大学の裁量で決められるようになる。標準額は現行と同じ52万8000円。学部別に差を設けることも可能となる。各大学とも法人化スタートの際には標準額にする見通し。

地域 企業との連携

大学は変わるか

国立大法人化カウントダウン

■④■

をはじめ優れた取り組みをして
いる大学に支援を始めた。
独占的に利用できる契約を結ん
だ。同社は、この触媒装置を使
い印刷工場から出るシンナーな
ど揮発性有機化合物の分解脱臭
装置をつくった。「これまでよ
り低温・低コストで脱臭でき
る」という。
産官学連携で医療関連産業や
研究拠点を集める「神戸医療産
業都市構想」が進む神戸市のポ
ートアイランド。
神戸大は神戸市と連携し、同
地区に、生物学分野で横断的な
研究と人材育成を行う「神戸バ
ル」という。
最先端研究の支援だけでな
く、研究成果をスムーズに事業
化することで有能な研究者を集
める。神戸大は「人材育成」も
柱にしており、神戸市は「神戸
大の役割に大きな期待が集ま
る」という。

鍋や弁当箱に使われるアルマ
イト。このありふれた金属が
「農工大TLO」（東京、伊藤
伸社長）の経営に大きく貢献し
ている。
農工大TLOは発足一年目か
ら、この触媒装置などで約八百
二十万円のライセンス収入を得
ている。
TLOは大学の研究成果を特
許などの形にし、製品化したい
企業に使用を許可して利益を得
た。
東京農工大工学部の教授一人
当たりの今年度研究費は約二千
四十万円。ここ四―五年、国か
らの「校費」は一人当たり約百
万円と横ばい状態で、教授個人
が集める公募型研究費や民間と
の共同研究費が多くを占める。

群馬県東南部、利根川沿いに
ある大泉町。自動車の富士重
工、家電の三洋電機の工場や関
連企業が並ぶ人口約四万二千
人のこの町で、群馬大教育学部
の結城恵・助教は、学校へ行か
ない外国人の子供たちの実態調
査を続けている。
翌年、群馬大は県と
連携推進協議会を発足させた。
学生もボランティア組織をつ
くり、小中学校で補習やレクリ
エーションなどを行う。今年二
月には、医学部の医師や学生が
子供たちが通う私立のブラジル
人学校など六校で約五百五十人
への健康診断も実施した。
研究室を出て地域と連携する
大学の動きが目立つ。文部科学
省は十四年度から「地域貢献特
別支援事業費」を創設。群馬大
業「アルキヤット」（東京）に
ない。「TLOなどで『研究資
金は自分で稼げ』という時代
（大学関係者）
を整備、四月から本格運用が始
まる。

「なくてはならない存在へ」

イオテクノロジー研究・人材育
成センター」と、ベンチャー企
業を支援・育成する「神戸大学
ます積極化している。
地元で貢献する人材育成で必
要性を高めたり、企業と連携
し、研究を活性化させたり。
地域や民間企業にとってなくて
はならない存在となって、生き
残りを図ろうとする動きはます
ます積極化している。

Q 基礎研究が軽視され
る懸念は。
A 「採算がとれない基
礎研究がおろそかにされる
のではないか」などの声は
法人化論議の中であるが、
文科省はホームページの中
でこうした疑問を紹介し、
基礎研究の重要性をあげて
「基礎研究をさらに充実さ
せていきたい」としてい
る。研究成果を外部の評価
の目にさらすことで研究環
境の活性化も期待される。

全国一だ。なじめない日本の生
活で学校をやめてしまう子供た
ち。教育、医療、福祉など横断
的な支援が必要と感じた結城助
教授は、平成十三年度に「多文
化共生研究プロジェクト」を立
別支援事業費」を創設。群馬大
業「アルキヤット」（東京）に
ない。「TLOなどで『研究資
金は自分で稼げ』という時代
（大学関係者）
を整備、四月から本格運用が始
まる。

再編統合

大学は変わるか

国立大法人化カウントダウン

■⑤■

「統合を視野に話し合いた 目指そう」と話し合いを重ねた。平成十三年の暮れも押し 約一年かかって、教育学部を 迫ったころ、群馬大の赤岩英夫 学長(当時)は埼玉大の兵藤 学長を訪ね、単刀直入に切り出 した。

当時、大学統合の先例はなかつた。まして県境をはさんで約 七十キロ離れた二大学。「国立と

「覚悟」と学長の指導力必要

この連載は堀洋、藤原直樹、 慶田久幸、田中万紀、榎田寿宏 が担当しました。

いえども現状のままではやって いけない時代が来たと覚悟はし ていたが、青天の霹靂(ひかりかみ)だっ した」。兵藤学長は振り返る。

馬大を突然訪れ、待ったをかけ 馬大を突然訪れ、待ったをかけ 馬大を突然訪れ、待ったをかけ

統合を目指しながら詰めの部 分で頓挫したケースは枚挙にい

名前も一新した東京海洋大だ が、統合には難産の面もあつ

自力で生き残れないところ が担当しました。

この連載は堀洋、藤原直樹、 慶田久幸、田中万紀、榎田寿宏 が担当しました。

医・工・教育・社会情報学部 の群馬大と、教養・教育・経済 理・工学部の埼玉大は、統合 すれば学生数で五指に入る巨大 国立大となる。「第二の筑波大を

群馬大は自ら申し入れた統合 話の棚上げを余儀なくされ、話 しいはストップしたままだ。 「地元を目を向けていなかった ことを思い知らされた。自分た ちの研究や教育を外に発信しよ うという気風が学内に生まれつ つある」。群馬大のある助教授 は、幻の統合の産物をこう評す

「単純な足し も浮上したが、実現しなかつ た。現在でも、会議を開く順番 てもめた揚げ句に港区港南、江 東区越中島の両キャンパスで同 時開催するような事態は、日常 茶飯事だという。

苦労を重ね統合を模索する背 景には、予算削減など国立大を 取り巻く環境が厳しくなり、特 リーダーシップがなければ実現 できないのではないか」。その 言葉は、統合の成否のみでな く、国立大の未来をも暗示して いるようだった。(おわり)

Q これまでに再編・統 合した国立大は。 A 平成14年10月に山梨 大と山梨医大、筑波大と図 書館情報大の2組4大学、 昨年10月には神戸大と神戸

商船大など10組20大学が統 合。富山大、富山医薬大、 高岡短大の3大学が17年10 月の統合に合意している。 法人化で国立大の構造改革 がさらに進むそう。